

技術仕様

・寸法

63 x 72 x 27 (mm)
(L x W x H)

・入力電源 (Communicatorへの供給電力を除く)

24V DC $\pm 10\%$ / 0.3A

※御使用になられる電源の選定には必ず、
Communicatorの入力電源容量を加算してください。

・出力電圧/電流

コミュニケーター用 (供給電源に依存)

24V DC

シリアル接続機器用

5V DC/0~500mA, 8.5V DC/0~500mA

12V DC/15~500mA

・保護接地

電源コネクタを介し保護接地 (PE)
に接続する必要があります。

・温度

-10から+55°C (動作状態)

-25から+85°C (停止状態)

・相対湿度

5から95%

・UL, cUL規格 (申請中)

・CEマーキング対応品

サポート

・HMS Sweden

E-mail: support@hms-networks.com

Phone: +46(0)35-17 29 20

Fax: +46(0)35-17 29 09

Online: www.anybus.com

・HMS America

E-mail: us-support@hms-networks.com

Phone: +1.773.404.2271

Fax: +1.773.404.1797

Online: www.anybus.com

・HMS Germany

E-mail: gs-support@hms-networks.com

Phone: +49 721 964 7218

Fax: +49 721 964 7210

Online: www.hms-networks.de

・HMS 日本

E-mail: jp-support@hms-networks.com

Phone: +81 45 478 5340

Fax: +81 45 476 0315

Communicator Downloads

最新のマニュアルやコンフィグレーションソフトウェアはこちらからダウンロードできます。

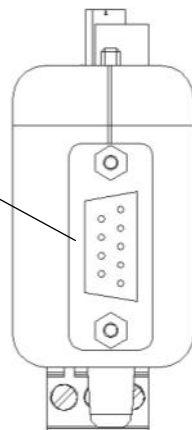
www.anybus.com

△ご使用の前には必ずリーフレットおよび取扱説明書をお読みください。

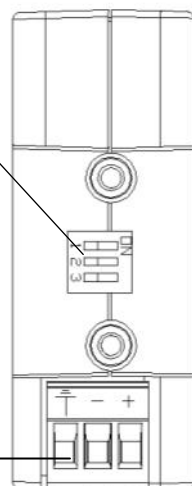
コネクタおよびスイッチについて

サブネットワークコネクタ

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. V OUT | 6. RS422 RX+ |
| 2. RS232 Rx | 7. RS422 RX- |
| 3. RS232 Tx | 8. RS485+ /RS422 Tx+ |
| 4. NC | 9. RS485- /RS422 Tx- |
| 5. Signal GND | Casing -PE |



Vout (V)	SW1	SW2	SW3
0	ON	X	X
5.0	OFF	ON	OFF
8.5	OFF	OFF	ON
12.0	OFF	OFF	OFF



電源用適合電線

単線・撚線 0.2-2.5mm²

電向き長さ 7-8mm

ネジ締めトルク

0.5-0.8Nm



電源部

+ +24V DC

- 0V DC

PE

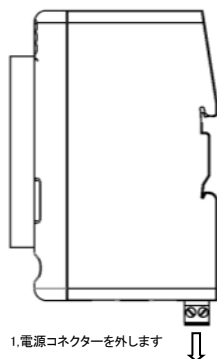
同封アクセサリ

- ・電源用3Pコネクター
- ・インストレーションリーフレット(本紙)

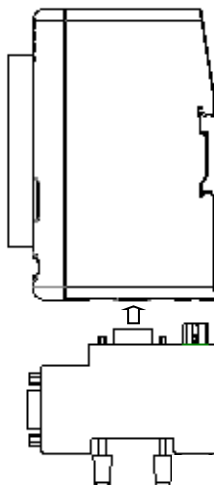
接続可能弊社製品

- ・Anybus Communicator
RTU, DF1, RS-232/422/485シリーズ

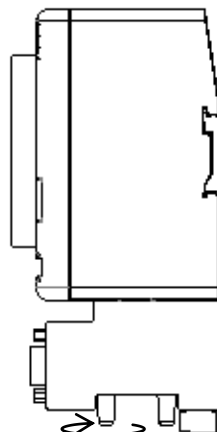
Anybus Communicatorへの接続方法



1.電源コネクターを外します



2.電源アダプターを取り付けます



3.つまみ付きネジをまわし固定します。
締め付けトルクは0.4Nm以下にて作業します。

4.電源コネクターを取り付けます。
これ以降の作業はABCインストレーションリーフレットを参照ください。

使用上の注意

- ・24V DC電源はクラスⅡ電源をご使用ください、これ以外の電源は故障または誤動作します。
- ・電源線コネクターは指定のケーブルをツイストして使用ください。
- ・電源コネクターの接地端子(D種接地、接地抵抗100Ω以下)は必ず接続してください。
電源アダプターの使用によりAnybus Communicatorとシリアル機器間の電氣的絶縁(ガルバニック絶縁)はなくなるためCommunicatorとシリアル機器の接地方法は同一の接地方法にて運用ください。
- ・Vout出力電圧設定SWの設定を確認してからサブネットワークコネクターに機器を接続してください
- ・Anybus Communicatorに本電源アダプタを接続する場合は、Anybus Communicator用電源コネクターを外した状態で本電源アダプタを接続して、つまみ付きネジを規定トルクでしっかり回し固定します。緩いと故障または誤動作します。
- ・Vout出力電圧設定SWの設定を確認してからサブネットワークコネクターに機器を接続してください。
無負荷時にはVoutが安定しない場合がありますので、必ず機器を接続してから動作確認してください。
- ・Anybus Communicator設定用のコンフィグレーションケーブルを接続する場合は、本電源アダプタを接続する前にAnybus Communicatorに接続して機器全体を接続して動作確認してください。
設定完了後にはコンフィグレーションケーブルを外して運用してください。
コンフィグレーションケーブルを接続したままの運用はノイズの影響を受け易くなり、故障又は誤動作の原因になります。
- ・サブネットワーク機器の接続ケーブルおよび電源ケーブルの重みが本電源アダプターに掛からないようケーブルをケーブルダクトに収めるまたは適所固定してください。

使用例

本製品は弊社Anybus Communicatorをご利用いただく際にシリアル接続機器に電源を供給するためのアダプターとなります。以下に外部電源を必要とする2Dバーコードリーダの接続例を記載いたします。

(Anybus Communicatorの使用方法は、Anybus Communicatorのマニュアルをご参照ください。)

- ・ 2Dバーコードリーダに必要な電源電圧に切り替えスイッチを設定します。
- ・ 2Dバーコードリーダのシリアルケーブルをアダプターに接続します。
- ・ 電源アダプターを本体に取り付け
つまみ付きネジをまわし固定します。
- ・ Anybus CommunicatorをDINレールに固定します。
- ・ ネットワークケーブルを接続します。
- ・ 配線済みの電源コネクタを接続します。
(必ず最後に電源コネクタを 接続してください。)

コンフィグレーションケーブルの接続

- ・ 電源コネクタ、電源アダプターの順番でAnybus Communicatorから外します。
- ・ コンフィグレーションケーブルを挿し電源アダプター、電源コネクタの順番で接続します。

